

研究情報公開資料（オプトアウト用）

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)	YCR18011
1 研究課題名	特発性肘部管症候群の原因についての一考察
2 研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 医師 大久保ありさ 研究分担者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 部長 平瀬雄一、医師 菅野百合、医師 古賀はる香、療法士 竹田絵理子、療法士 竹厚和美、療法士 加藤真里、療法士 伊川真実
3 研究期間 調査期間	研究期間 開始：院長許可後 ～ 終了：2018年4月26日 情報等調査期間 開始：2010年3月1日 ～ 終了：2017年7月31日
4 研究の背景・目的 ・意義・方法等	特発性肘部管症候群の原因については、肘の変形性関節症や生来の尺骨神経脱臼のしやすさなど、様々な原因が考えられています。しかし、変形性肘関節症は多くの高齢者に生じる一方、肘部管症候群は全ての高齢者に発症するものではありません。今回当院における肘部管症候群にて手術加療を要した症例を解析し、その原因について検討します。対象は、上記3に記載の情報等調査期間中に肘部管症候群の診断で手術を施行した症例とし、神経伝導速度検査が施行されていない症例は除外します。対象患者様の手術記録、記録写真、カルテ記録（術前評価含む）、画像診断、生理検査を過去に遡って調査します。検討項目は年齢、罹患期間、既往歴、術前神経伝導速度検査、肘関節のX線所見、神経診察所見、肘関節可動域、習慣性尺骨神経脱臼の有無、術式とし、個人が特定される情報は含みません。
5 研究の対象 となる方	2010年3月から2017年7月までの間に、当院手の外科において肘部管症候群の手術療法を受けた方
6 試料・情報等の 利用目的、利用方法	特発性手根管症候群の原因について、当院の豊富な症例から検討し、他院において治療方針の一助となるよう第61回日本手外科学会学術集会にて発表します。
7 研究に用いる試料・ 情報の種類（項目）	利用する情報は、手術記録、記録写真、カルテ記録、画像診断です。個人が特定されるカルテ番号、生年月日などは情報から切り離して使用します。
8 試料・情報を利用 する者の範囲	上記2と同じ範囲の者
9 試料・情報の 管理責任者	上記2に示した研究責任者
10 計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11 その他の開示 すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12 お問い合わせ先	情報が研究に用いられることについて、ご本人（あるいは代理人）が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。 連絡先 所属：手の外科・マイクロサージャリーセンター 名前：大久保ありさ（研究責任者） 住所 東京都千代田区二番町7-7 電話 03-3261-0401 FAX 03-3261-0402

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。